

# 令和6年度事業計画

令和6年3月

一般財団法人四国産業・技術振興センター

## 目 次

令和6年度事業方針	1
<b>I 新技術・新製品開発の支援</b>	<b>2</b>
1. 補助金等を活用した支援	2
2. 外部組織の事務局としての支援	2
3. カーボンニュートラル・フードテックの普及促進支援	3
<b>II 販路・用途開拓の支援</b>	<b>3</b>
1. 補助金等を活用した支援	3
2. マッチングサイト（ヘルシー四国）による販路拡大支援	3
<b>III その他の事業</b>	<b>4</b>
1. セミナー・講習会等	4
2. 四国産業技術大賞	4
3. 大学との連携強化	4
4. 次世代層向け科学技術イベント等	4
5. 賛助会員との交流促進	4
6. 情報発信	4

## 令和6年度事業方針

令和5年度は円安や物価の高騰など、経営を取り巻く環境は厳しい状況であったが、新型コロナウイルス感染症が5類になるなど社会経済活動が徐々に正常化してきた。そういった状況をふまえ、当センターが得意とする現場に出向く活動に加え、利便性の高いデジタル技術による活動も大いに活用しつつ、事業運営に取り組んだ。

令和6年度は、「フードテック」など新たな分野にも範囲を広げるとともに、「カーボンニュートラル」や高機能素材および機能性食品などの「ものづくり」分野の支援を継続し、国やJKA等の補助施策を引き続き活用しながら以下の2項目を重点課題として取り組む。

- ① 様々なアイデアやシーズを持ち成長が期待できる企業の新技術・新製品開発の支援
- ② 四国の特性を活かした商品や有望な独自技術の販路・用途開拓の支援

特に高機能素材産業については、今年度新たに「第二期四国地域連携支援計画（注1）」の経済産業大臣承認を予定しており、同計画の機関等と協力し支援事業を推進する。

実施にあたっては、地域産業が一層活性化するよう、現場に出向く活動とデジタル技術を活用した活動を両輪として、支援企業と二人三脚で取り組む伴走型支援を充実していく。

また、四国地域イノベーション創出協議会（注2：以下「イノベーション四国」）の会員機関やイノベーションコーディネーター（IC）と連携し、地域の企業をワンストップで幅広く支援するとともに、事務局として関係機関の活動の活性化を図るほか、四国内大学との連携を強化していく。

（注1） 地域未来投資促進法に基づき、各県が定めた産業活性化取組のうち4県共通の分野について、四国の産官学金からなる企業支援機関が連携し支援計画を策定し、経産大臣承認を得て実施するもの。

（注2） 平成20年度に設立した、企業が抱える課題の解決を四国の総合力で支援する組織。四国内の研究機関、産業支援機関、金融機関など計48の会員機関が保有する人材、ネットワーク、機器や研究成果等の資源を総合的に活用し企業支援を行っており、当センターが事務局、産業技術総合研究所四国センター（以下「産総研」）と中小企業基盤整備機構四国本部（以下「中小機構」）が副事務局を務めている。

# I. 新技術・新製品開発の支援

## 1. 補助金等を活用した支援

国の補助金や STEP 独自の支援策を活用し、様々なアイデアやシーズを持つ企業各社の新技術・新製品の開発を支援する。

### (1) 国の補助金等を活用した支援（技術・製品開発支援事業）

技術・製品開発を行っている各社の要望に応じて外部資金獲得を支援していく。

- ・ 企業の外部資金獲得に当たっての応募申請書のブラッシュアップ
- ・ 経済産業省「成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech）」などの事業管理機関としての進捗管理等

など

### (2) STEP 独自の支援（技術・製品開発支援事業）

公的機関の支援事業よりも自由度の大きいSTEP独自の開発支援事業を継続して実施する。

- ・ 大学・高専・公設試等の研究機関と企業が行う共同研究費用の一部助成
- ・ 企業が単独または共同で行う、将来の事業化を目指した研究調査事業の実施

など

## 2. 外部組織の事務局としての支援

外部組織の事務局として、コーディネーターや専門家派遣による技術相談などこれまで支援を強化してきた分野を中心に継続実施する。

### (1) CNFを活用した新事業の創出支援（産業振興事業）

利活用の芽が出始めたCNF（セルロースナノファイバー）について、2016年に設立した「四国CNFプラットフォーム」をベースに、各種専門家や関連機関の協力を得ながら、CNF取組企業の製品開発から販売まで各種活動を支援する。

### (2) ヘルシー・フォー等の機能性食品の普及と創出支援（産業振興事業）

四国産の機能性食品に対する認証制度である「四国健康支援食品制度（ヘルシー・フォー）」の普及広報及び認証申請支援を継続する。

### (3) イノベーション四国を通じた支援（産業振興事業）

四国内の研究機関、産業支援機関、金融機関などの会員機関やコーディネーターと連携しながら技術開発・販路開拓の支援を行っていく。

また、同協議会事務局として、各県にて支援機関・IC連絡会を開催するなど、イノベーション四国の活動活性化を図っていく。

### 3. カーボンニュートラル・フードテックの普及促進支援（産業振興事業）

令和5年度、「カーボンニュートラル技術」の普及促進支援の結果、四国の中核産業の一つである食産業は、熱需要が相対的に高く、脱炭素余地も高いことを示すデータが得られた。また、国も「フードテック」という切り口で生産性向上支援に乗り出していることなどから、令和6年度も、四電営業部門と連携して『参考事例集』を作成するなど、取組の深化・拡張をはかる。

## II. 販路・用途開拓の支援

### 1. 補助金等を活用した支援（企業間マッチング支援事業）

四国の特性を活かした商品や有望な独自技術の販路・用途開拓の支援を実施する。

質の高い技術や新商品を有する四国の企業を選出し、Webマーケティングを併用したビジネスマッチングを実施する。

また、ヒートポンプやマイクロ波加熱など産業用熱源の電化による「カーボンニュートラル」についてもNEDO等の補助金を活用した支援を行う。

- ・ 大企業経営層OBなどで構成される専門機関を通じた個別マッチング
- ・ 展示会を通じたマッチング

など

### 2. マッチングサイト(ヘルシー四国)による販路拡大支援（企業間マッチング支援事業）

機能性食品を含む付加価値のある食品素材・商品および食品加工機器など「フードテック」分野の販路開拓を支援するため、STEPのマッチングサイト「四国発！ヘルシー食品&素材マッチングウェブ（ヘルシー四国）」を活用して、効果的に支援を行う。

- ・ インターネットを通じた企業間取引（BtoB）に意欲のある企業の発掘とマッチングサイトを利用した販路開拓・商品開発支援および展示会出展支援
- ・ 自社ホームページやSNSを新たな販路とすることを目指す企業向けにデジタルマーケティングの公的資格を有する専門家「ウェブ解析士」を派遣するなど、効率的なリスティング広告出稿などのハンズオン支援を行う。

など

## Ⅲ. その他の事業

### 1. セミナー・講習会等（技術・製品開発支援事業、産業振興事業）

企業の技術開発等の課題解決に向けた取り組みを支援するために、四国経済産業局やイノベーション四国の各支援機関と連携して、技術セミナーや講演会等を開催する。（後援等を含む）

### 2. 四国産業技術大賞（イノベーション四国顕彰事業）

四国経済産業局および産業技術総合研究所と共同で、「四国産業技術大賞」の顕彰事業を運営し、四国の産業技術の発展に顕著な貢献があった企業の表彰を行う。表彰に当たっては、各賞受賞企業の技術・製品や事業のPRに努め、販路開拓支援にもつなげていくとともに、全国大の顕彰事業への応募のバックアップを行う。

### 3. 大学との連携強化（産業振興事業）

四国内の大学と連携し、オープンイノベーションの形で研究者と企業との交流、大学と共同研究する企業支援、大学発ベンチャー企業の販路開拓支援などに取り組む。

### 4. 次世代層向け科学技術イベント等（産業振興事業）

香川県内の児童生徒の科学や技術に対する関心を高め、様々な実地体験を通して人間としての成長を図ることを目的とした「かがわけん科学体験フェスティバル」を香川大学と共催して、同フェスティバルを支援する。

また、「四国地区高校生溶接技術競技会」に協賛、「ロボットアイデア甲子園四国大会」を後援し、高校生の科学技術の支援を実施する。

### 5. 賛助会員との交流促進（産業振興事業）

当センター賛助会員への訪問を通じ、賛助会員企業の課題や当センター事業への要望などを意見交換し、支援策を提案するなど賛助会員サービスの促進を図る。

また、出会い・マッチングの場を提供し、会員の相互理解を深める場として「賛助会員交流会」を実施する。

### 6. 情報発信（産業振興事業）

情報誌やホームページ、メールマガジン等を活用し、当センターおよびイノベーション四国の認知度・理解度向上につながる効果的な広報・情報提供を行っていく。

以上